

# 第22回東教区宣教フォーラム・第3回準備委員会議事録



日時：2015年3月14日 14:00～16:30

場所：市ヶ谷センター、3F会議室

出席者：9名(敬称略、順不動)

高橋 進(田園調布)、長谷川晃司(副委員長-東京)、松浦 稔(書記-大岡山)、  
森川正明(書記-池袋)、田村忠夫(藤が丘)、八木久美(武蔵野)、鳥飼一成(津田沼)  
江口再起(アドバイザー・小岩)、木村 猛(委員長-保谷)

開会の祈り・司会：木村 猛

議 題

## 1 第2回議事録の確認

記録のなかのサブタイトルの提案「誰にでも開かれた賛美と聖書の恵み」の「で」を削除し「誰にも開かれた賛美と聖書の恵み」に変更して承認した。

## 2 その後の報告

- ・開催場所：東京教会が受諾してくれた。
- ・講師：松本義宣先生(神戸/神戸東教会、式文委員)が引き受けてくれた。  
事前の懇談会を5月の式文委員会後に予定し、要望を伝える。  
(宿泊費等の費用を負担する)
- ・江口委員(アドバイザー)から松本先生に準備委員会の意向を伝えて頂く。

## 3 準備委員会の組織・役割分担

- ・副委員長は長谷川晃司委員(東京)が担い、会場教会との連絡・折衝、及び、ワールドカフェ進行を担当してもらう。
- ・会計は決定に至らなかったため、当分、木村委員長が代行する。

## 4 協議事項

### ① 第22回の構想「宗教改革を語れる信徒になろう！」

- ・前回で提案があった「誰にも開かれた賛美と聖書の恵み」について、きれいなまとまった言葉だが、宗教改革や変わろうとしている式文を感じさせるような表現、今年は何を学ぶ場なのかがわかるような表現がほしい。
- ・ルターの礼拝における改革は、会衆が見学するようなものから全員が参加するものに変えたこと。
- ・ラテン語でなく母国語のドイツ語で、交唱交読する式文、聖歌隊以外の参加者も歌える讃美歌に変えたこと。
- ・ルターは讃美歌をたくさん作っている。フォーラムでも大人数でそれらを歌える場としたい。
- ・改訂式文とルターが改革した礼拝をつなげて考えてゆきたい。それを表現できるサブ・タイトルを考えたい。
- ・ルターが示した聖礼典の意味を学びたい。

- ・単なる勉強会、改訂式文の練習会にはしたくない。宗教改革に向けて学ぶ会にしたい。
- ・聖書に関しては来年に廻して、今回は礼拝と賛美をアピールしたタイトルをつけたい。
- ・ルターor ルーテル教会という言葉を入れたい。
- ・ルターがカトリックの礼拝をまるまる変えたわけでない。

結論

種々協議の結果、下記に決定。

サブタイトル「礼拝にいきるルターの心」

## ② 広報活動について

- ・3月21日(土)の東教区定期総会にチラシを配布する。開催場所、開催日、講師などを記載する。担当：八木委員。
- ・Facebook ページを作成し、利用する。次回委員会に案を作成して報告する。担当：松浦委員。
- ・本格的ポスターについて、次回委員会で検討する。

## ③ 当日の進め方

種々のアイデアを出し合った。

- ・10時開始～16時終了
- ・新式文を基にした聖餐式ありの礼拝をしたい。
- ・それを開会礼拝に取り入れるか、閉会礼拝とすべきか。
- ・新式文では派遣の部が変わり、献金が組み込まれていると聞いている。閉会礼拝では集計が大変。
- ・主題講演→礼拝の順番は良いのか？
- ・聖餐があるので時間がかかる。スムーズな流れが必要。
- ・開会の祈り→主題講演→礼拝→昼食→アピール→ワールドカフェ→ルターの讃美歌を歌う→閉会の祈り・・・の流れが考えられる。
- ・オルガニストは東京教会に願います。祈り・礼拝・讃美歌とオルガニストの働きが多くなるので複数名が必要か？
- ・ルターの讃美歌は馴染んでいるものと、そうでないものを選び、ルターが作曲した時の解説があれば嬉しい。
- ・昼食は、東京教会周辺は飲食店が多いので自由昼食としてはどうか。弁当持参の方が昼食を取れる場所を用意しては。講師・ゲスト・委員には弁当を用意する。
- ・ワールドカフェは15グループくらい必要。リーダーの確保が必要。委員・神学生に加え、広く募りたい。また、意思の統一の為、事前研修が必要。ルーサーリーグや女性会に参加を呼び掛けては。
- ・ワールドカフェでの話し合いのテーマを決めておく必要がある。全員が発言できるよう、個々の発言時間をコントロールする方策が必要。今後、検討を深め、5月の委員会で確定してプログラムとする。
- ・当日の進め方を次回協議するので各自のアイデアを持ち寄る。

## 5 予算

前回(第 21 回)の決算見合いでの予算案を検討した。

- ・会場使用料・献花代を東京教会に確認する必要がある。
- ・司式者、配餐者の謝礼、オルガニストが複数の場合の謝礼を再検討する。
- ・遠方からの講師の交通費が増額となる。
- ・アドバイザーの謝礼は辞退された。

4月の委員会で予算案を決定して、教区へ申請を上げる。

## 6 今後の日程(逐次決定します。赤字は確定)

**4月18日(土)** 第4回 市ヶ谷にて。ポスター、予算、当日のプログラム、

**5月16日(土)** プログラム、当日の作業分担、参加申し込み要領、礼拝式文

6月13日(土) プログラム確定、作業分担の確認、

6月27日(土) 予備日

7月2日(木) 市ヶ谷にてプログラム印刷

**7月3日(金)** 東京教会にて、当日の準備

**7月4日(土)** 当日

7月25日(土) 反省会、報告書作成日程

上記の協議を終えた後、全員で主の祈りを祈り閉会した。

以上

その後、5月の式文委員会の日程と松本先生の予定を聞いたところ、

5月17日(月) 午前：式文委員会、午後：ワーキング・グループ(16:00迄)

ということで、松本先生は前泊されるとのことです。

とすると、5月17日の16時から1時間くらいが考えられます。

その場合、参加者が都合の良い方に限られることになります。

また、6月は式文委員会は開催されないとのこと。

4月18日の次回委員会で話し合ひましょう。